

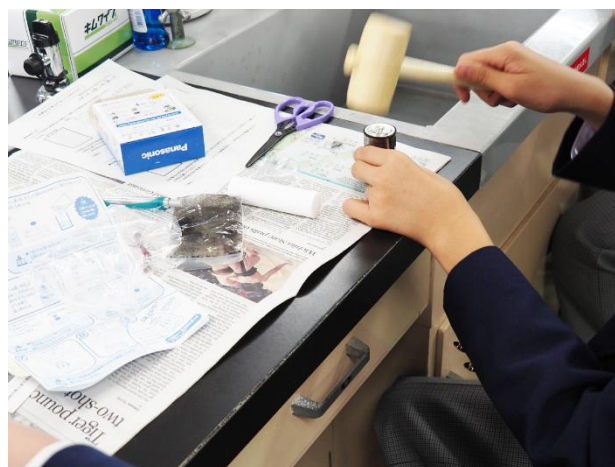
燕市中学生理数系トップランナー講座

会場：長岡技術科学大学 1年化学実験室
 日時：平成27年12月24日（木）13:00～16:00
 主催：長岡技術科学大学・燕市教育委員会
 参加者数：27名（生徒25、教員2）
 対象者：中学1～3年生
 技術職員：3名

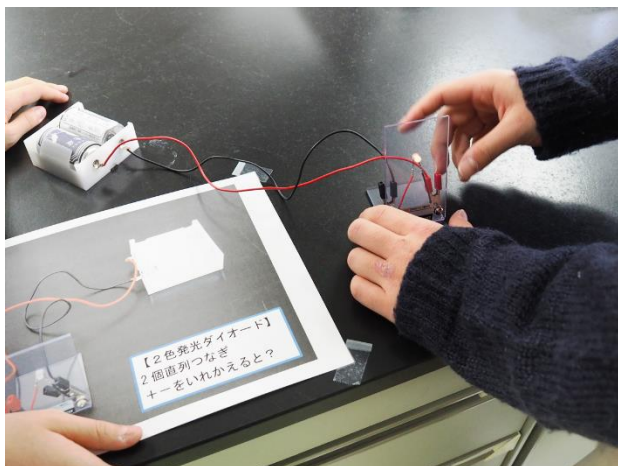
テーマ：本物の単一乾電池をつくろう！
 普段の生活で身近に使っている乾電池を自分の手で作ることで、マンガン乾電池の仕組みを学ぶことが出来ました。
 それぞれ作った乾電池の電圧をデジタルマルチメーターで測って比べました。また、プロペラモーター、電子メロディ、電子ブザー、2色発光ダイオード、イルミネーションの点灯といった電池の性質を調べる実験を行いました。



11月11日の「電池の日」、乾電池を発明した長岡市出身の「屋井先蔵」の紹介を行いました。



手づくり乾電池製作キットを用いて一人一個、単一乾電池を作製しました。



作った乾電池を使って実験を行いました。
 +-（プラスマイナス）を入れ替えるとどうなるかな？



講義の最初と最後に、電池の理解度についてのアンケートを行いました。乾電池の中には一体何が入っていたかな？

理数系に興味・関心のある燕市内の中学生を対象として、理科実験Ⅰ（化学）「本物の単一乾電池をつくろう!」、理科実験Ⅱ（物理）「縄跳びと光と色と」の2テーマの講座が行われました。技術支援センターでは理科講座Ⅰを担当し、60分で本テーマの講義および実験を行いました。実際に乾電池を自分で作ることで、工学への興味を深めてもらうことが出来たと思います。

